

人は、 ひとりでは死ねない

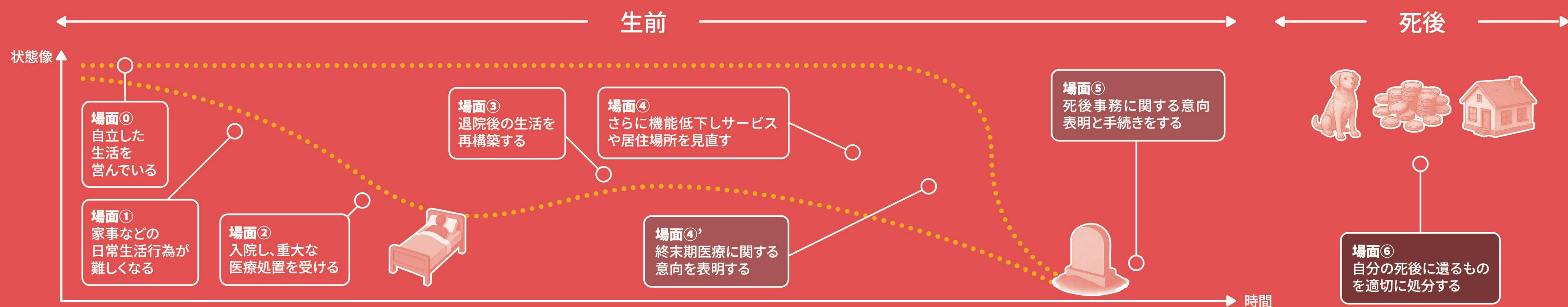
いま、日本では“ひとり”で暮らす高齢の方が急速に増えています。

けれども、その多くは超裕福でも、福祉の支援が届く立場でもない——いわば「支援のはざま」にある方たちです。身じまいを考えたい気持ちはあっても、「何から始めたらいいのか」「誰に頼ればいいのか」が分からないまま、不安を抱えている方が少なくありません。

これまでのように、家族にすべてを任せることが難しくなってきたいま、社会全体で支えあう新しい形が求められています。「ひとりの終わり」を、ひとりにしないために——私たちはこの課題に向き合っています。

おひとりさま身じまい問題：高齢者がひとりでは生前・死後に必要な意思決定と実行ができないこと

おひとりさま身じまい問題が発生する場面（身寄りのない高齢者が課題に遭遇する場面）



Solo サポート研究会

“ひとりでも、安心して最期まで暮らせる社会”をめざして。SOLO サポート研究会は、そんな思いから生まれました。

高齢者の想いや行動を丁寧に見つめながら、どんな支援やしくみが必要なのかを研究していきます。

地域・民間・自治体が力を合わせ、現場で本当に機能する仕組みをつくること——それが私たちの目標です。そして

2026 年度からは、実際のサービスとして形にしていこうを見据えています。

「誰もが、ひとりであっても孤立しない社会」へ。その一歩を、ここから踏み出します。

